

現職最年少 荒川区議会議員

「体は細いが、芯は太い」

# 清水ひろし



民主党・市民の会

からの手紙 №13

第3回定例会報告

## 平成21年度決算委員会、会派を代表して 放置自転車、放課後子どもプランについて総括質疑



10/13に閉会した区議会第三回定例会では16本の議案が成立をみました。このうち、平成21年度決算認定については決算特別委員会が設置をされ、昨年度の荒川区一般会計約922億円、特別会計を含め約1300億円のお金の使われ方について連日議論を行いました。私も初日の総括質疑に会派を代表して質問に立ち、(1)放置自転車問題、(2)放課後子どもプランの実施について、の2点にわたり質疑をいたしました。

政権交代後、「事業仕分」が注目を浴びました。決算委員会においても同じ視点に立ち、区の施策が公正・公平に、適切かつ効率的に実施をされているのか、そして、区民が納得・満足の実感出来るかたちで区政運営がなされているのか、議論を重ねてきました。

これからも二元代表制の議員の一人として、また、区民に最も身近である議員として活動を続けて参ります。今後とも活動にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

**決算委員会の質問項目** (1) 放置自転車対策について (2) 放課後子どもプランについて  
(3) 個人情報保護法の運用について (4) 学校校庭の照明設置について (5) あらかわ遊園運営について

### 放課後子どもプランの整備を要望

～決算委員会の質疑から(裏面へ)～

**質問** 放課後の子どもたちの居場所づくりである「放課後子どもプラン」は、区内24小学校のうち6校のみでの実施となっている。どの区民、どの子どもも、同じ行政サービスは等しく受けられるようにしなければならない。学童クラブの子どもたちや親御さんの心配にもきちんと対応したうえで、速やかにこのプランを整備していく必要があるのではないか。

**答弁** 指摘のような課題について学校・教育委員会と協議を行い、できるだけ早く全校実施をしていく。

\*実施校(汐入東小・五峽小・尾久宮前小・尾久小・一日小・六日小)

清水啓史 (35歳 昭和50(1975)年5/7日生 卯年 A型 おうし座)

寛永寺幼卒/根岸小卒/早中・早高卒/早大卒。民主党本部元職員(役員室では当時の菅直人、岡田克也代表の秘書役を担当)。平成19(2007)年 荒川区議選初出馬初当選。

現在は「民主党・市民の会」幹事長。文教・子育て支援委員会、観光・文化推進調査特別委員会、議会運営委員会に所属。現職最年少・民主党唯一の荒川区議会議員として1期目の活動中。家族は妻と娘(平成20(2008)年12月生)。



民主党・市民の会 清水ひろし

〒116-0013 荒川区西日暮里2-28-8

TEL/FAX 03-3801-6325

E-mail shimizu-hiroshi@nifty.com

## 放置自転車対策費に毎年 8700 万円！



**質問** 放置自転車対策にいくら経費がかかっているのか？  
**答弁** 約 8700 万円

**質問** 今後の駐輪場整備にあたり、機械式の導入に向けた検討してはどうか？  
**答弁** 上下ラック式のものには利用者に不便をかけている。用地の確保等含めて考えて参りたい。

**考え** 違法駐輪撤去等に毎年約 8700 万円が掛かっている。1 人 1 人がルールを守ることにより、この経費をもっと区民が必要としている分野へまわすことが出来る。あわせて、区もより利便性の高い、使い勝手のよい駐輪場を整備していくことが必要である。

## あらかわ遊園の外部監査、8 年前にも同じ指摘がなされていたことを質す！

荒川区では毎年、公認会計士による包括外部監査を約 800 万円かけて実施をしています。平成 21 年度はあらかわ遊園を扱いました。監査結果で指摘をされた問題点については改善が必要であります。ところが、平成 13 年度包括外部監査において同様の指摘をすでに受けていることが分かりました。

**質問** 8 年前にも同じ指摘を受けている。これでは包括外部監査が役立てられていない。数年後に同じ施設の監査をした結果、このようなことがあってはならない。

**答弁** (副区長) 課長会において、とくに人事異動の際の引継ぎ対応など具体的な指示をしていく。今後は二度とこのようなことがないように期して参る。

	平成 21 年度	平成 13 年度
備品管理	台帳には記載されていない備品が多数確認された	備品台帳が作成されていない
乗り物券	受払簿を記帳したり、枚数を確認する管理は行われていない	受払簿がないため、現在ある数量の把握ができていない

## 区民アンケートの声を区政へ！ 西川区長へ予算・政策要望



荒川区では来年度の予算編成作業が進められています。区民の皆さんから頂いたアンケートによる要望等についても盛り込み、平成 23 年度への予算・政策制度の要望を行いました。これからも地域の声を大事に活動に取り組んで参ります。アンケートへのご協力有難うございました。

## —荒川区の動き 議会報告から—

### 災害避難所等の見直し作業へ

災害時、各町会が集まる「一時集合場所」「広域避難場所」は定められています。一方、小・中学校などの「避難所」については決められておりません。区は各町会にアンケート調査を実施し、「一時集合場所」「広域避難場所」「避難所」の見直し・検証作業を行っていきます。

### 来年 2 月、認証保育所が開園

旧南千住 5 丁目ひろば館を活用し、新たに認証保育所(事業者:学校法人三幸学園)が開設されます。対象児童は 0~2 歳児、来年 2 月開園予定となっています。  
 \*開園場所:南千住 5-29-10



## 高齢者介護の現状

最終日の本会議にて決算認定賛成の討論を行い、その中で高齢者介護の問題について述べました。

少子化・高齢化・単身化が進むなか、高齢者比率 23 区中 3 位にある荒川区にとっても高齢者介護の問題は最重課題の一つです。荒川区の介護保険料基準月額 4613 円は 23 区中最も高い金額です。また、特別養護老人ホーム待機者は 700 名を超えています。



2000 年に「介護の社会化」をはかり、「みんなでみんなを支える仕組み」としてスタートした介護保険制度が 10 年を経過しました。しかし、毎年、介護・看病疲れを原因とした殺人事件が 50 件。自殺が 280 人。介護をしている家族からの高齢者虐待が 1 万 3000 件発生しています。



本当に当初の理念通りになっているのでしょうか。施設介護職員の低賃金と高い離職率などの問題もあります。介護保険制度の抱える課題改善に向けて国、地方一緒になった取り組みが必要だと考えます。